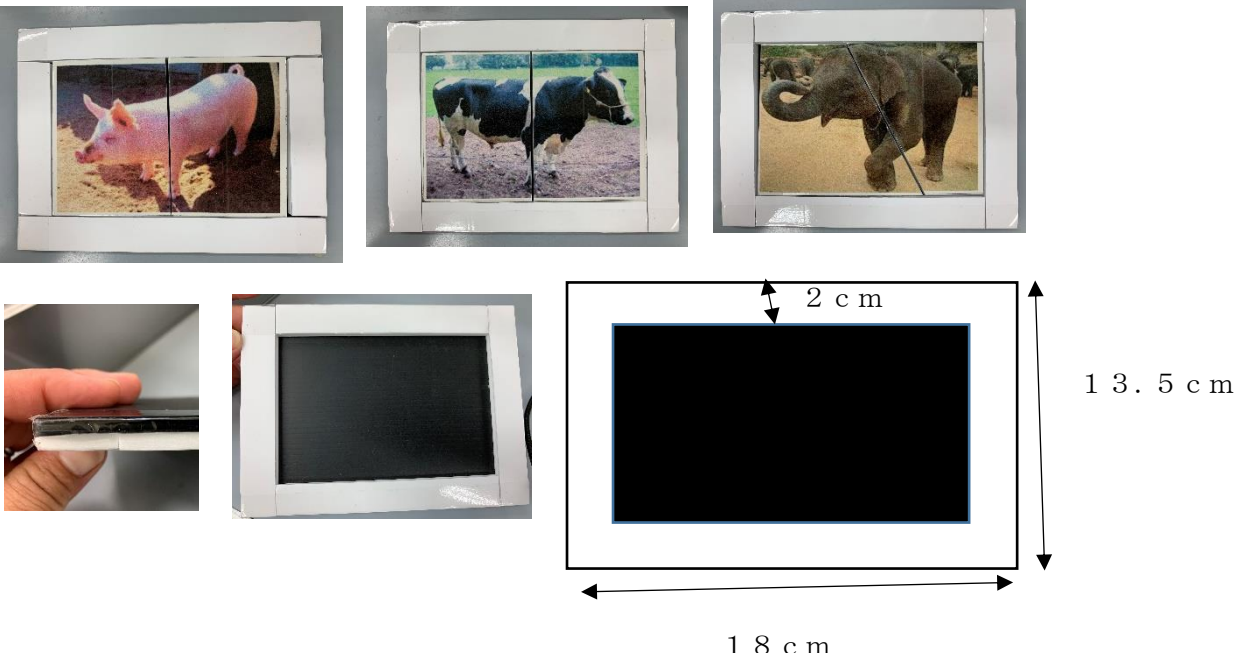


教材名 どうぶつパズル	授業名 個別課題
学部 小学部	
写真（教材、使用場面など）	
	
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の名前を知る。 ・見る力を育てる。 ・落ち着いて取り組む力をつける。 ・型にはめた感覚を養う。 	
<p>工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童も興味のあるもの、今回は「動物」を使ったパズル。対象児童によっては、「食べ物」「生活用品」「虫」「キャラクター」など、変化をつけることはできる。 ・パズルのピースの切り目は、簡単な縦真ん中切りができるようになったら、斜め切りや、横切りなど切り目の違うものに挑戦できるようにしてある。 ・型にはめること（入れたときの感覚）で終わりがわかりやすい。 ・下板としてプラ段・枠組みとして発泡スチレンボードを使用。パズル部分も同様に発泡スチレンボードを使用。パズル部分には、透明テープで加工してある。 ・一緒にはめることからはじめ、パズルのピースの置き方、置き場所、教師とのやりとりで渡すなど児童の様子を見ながら発展させていくことができる。徐々にピースの数を増やしていく予定。 	
<p>活用方法及び児童生徒の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの幅がなかなか広がらない児童に、興味をもてるであろう動物を使ったパズルを作成し、提示。 ・発泡スチレンボードを割って楽しむ遊びに発展しないよう注意が必要。 ・一人の時間楽しく取り組める課題的遊びとして提供。 	
<p>その他（材料、作成費用、購入先など）</p> <p>動物の写真・プラ段・発泡スチレンボード・透明テープ</p>	

